

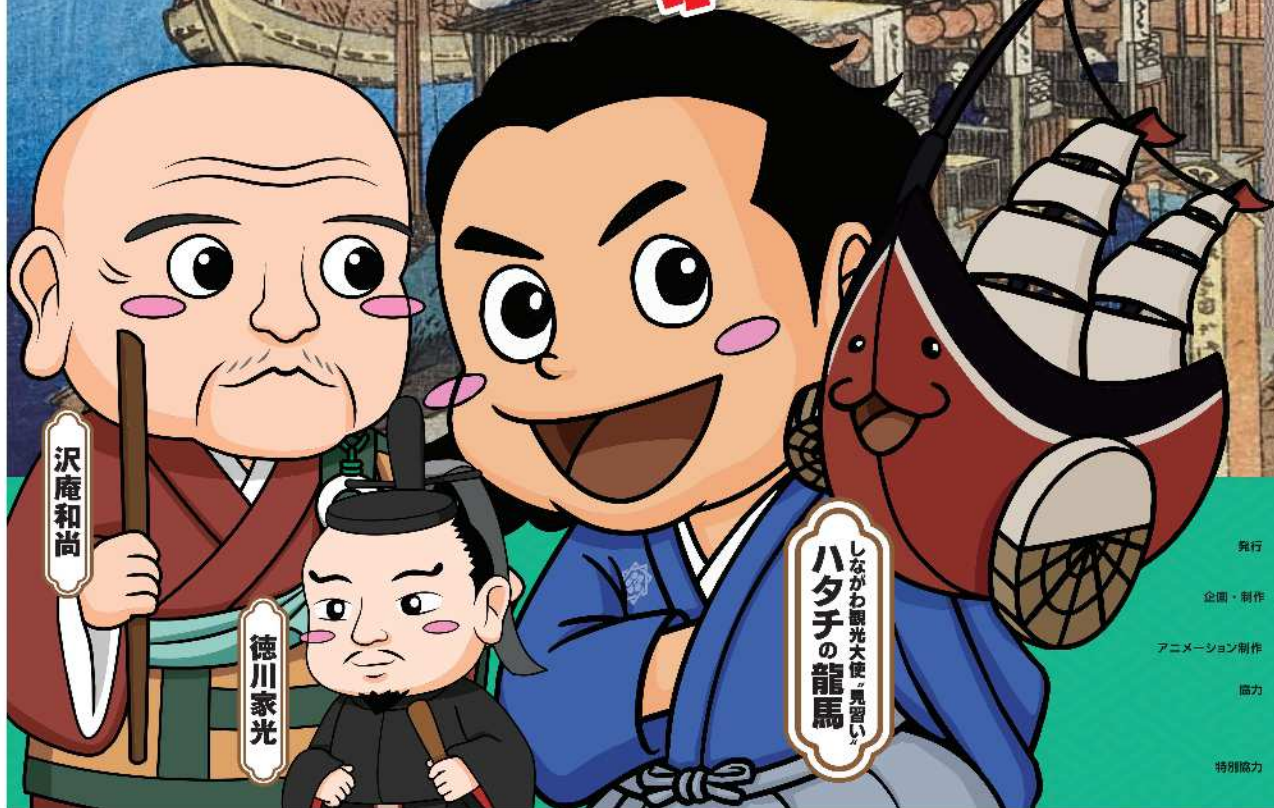
第七弾
「沢庵和尚」
篇

品川大河アニメ

ハタチの龍馬

with クロフネくん!

ハタチの龍馬とクロフネくんが
時空を超えて現代品川めぐり
ゆくぜよ!!



沢庵和尚

徳川家光

しながわ観光大使「異国い」
ハタチの龍馬



ハタチの龍馬【品川区】 X (旧Twitter)

X @hatachino_ryoma



しながわの観光スポットや
イベント、おススメの飲食店、
マニアックな品川をつぶやくぜよ!

ハタチの龍馬が品川を巡る!!
龍馬がおもしろ、おかしく、
現代の品川を紹介

YouTubeで
動画配信中



ハタチの龍馬

検索

発行 2025年2月

企画・制作

品川区



アニメーション制作

(株)ディー・エル・イー

協力

一般社団法人 しながわ観光協会
品川区立 品川歴史館



特別協力

高知県、福井県坂井市

みんな
観るぜよ!



品川大神アニメ ハタチの龍馬 with 707ネくん! 其ノ十二



龍馬 meets 沢庵和尚



動画はコチラから

①今日は、品川宿ゆかりの地をめぐっていきま。

②品川宿といえば、「東海道五十三次」最初の宿場町ぜよ！

③へんてこじいさんが来たぜよ！
④ほー！つぼつぼつぼ！

⑤あ！この方は！江戸時代初期に活躍した、沢庵和尚！
⑥たくあん？？あの漬物の？
⑦たくあんの名前が由来になつてるらしいんだ。

⑧わしの寺で、友達と待ち合わせをしとるんじや。品川宿だけに、肅々と行くぞ！！
⑨品川宿は、肅々として有名だったんだ。



沢庵和尚

天正元年、兵庫豊岡市出石町に生まれる。
京都大徳寺住持、豊岡市出石町宗鏡寺「按湯軒」に開居。
寛永16年（1639年）、67歳の時、家光によって創建された萬松山東海寺に初代住職として入ることとなる。
三代将軍家光に愛される。
その後、正保2年12月11日（1646年1月27日）、沢庵は江戸で没した。享年74。

⑩その中でも、土蔵相模はとくに有名だよ。

⑪ここには伊藤博文や高杉晋作など、幕末の志士たちが集まっていた記録も残っている。

⑫品川宿は多くの旅籠（はたご）茶屋が立ち並んで、そりやあ大変な賑わいだった。



⑬松田門外の変の前夜にも、水戸藩浪士たちが、土蔵相模に集まったと言われているんだ。

⑭このは！聖蹟公園じゃな？

⑮今は公園になつてみこころが、品川宿の本陣があったところなんだ！



⑯江戸時代の参勤交代の時には、本陣にたくさんの方が通るから、多くの宿泊施設が必要だったんだ。その中でも大名が休憩・宿泊した場所を、本陣っていうんだよ。

品川神社

①品川神社が、関ヶ原の戦いの前に、先勝祈願をしたって言われる、由緒正しい神社だよ。



②三代将軍、徳川家光じゃ！
③わしは沢庵とは、ダジャレ仲間じゃ。



④品川宿は、たくあんはすくく仲良しで、ふたりの会話が、残つてんだ。



※このアニメは、史実以外はフィクションです。

ハツ山橋

日本が世界に誇る「ゴジラ」が上陸の第一歩を印したハツ山陸橋は、明治5年(1872)に架けられ、現在の萌黄色の橋は4代目です。「ハツ山」とは、ここが武蔵野台地の突端の丘陵で海岸に突き出た岬が八つあったことに由来。江戸から品川宿に入る入り口に位置しています。



問答河岸

かつて北品川の海岸にあった波止場の名前で、三代将軍徳川家光が東海寺に訪れた際、沢庵和尚がこの辺りまで出迎えて禅問答をしたという話が「徳川実記」に記載されています。現在の問答河岸の碑は地元有志によって建てられたもので、実際の問答河岸はもう少し南に下ったあたりといわれています。

海が近い 遠海寺!?



土蔵相模

旧東海道に面した食売旅籠屋「相模屋」は、外装が海鼠(なまこ)塀の土蔵造りだったことで、通称「土蔵相模」と呼ばれていました。土蔵相模は品川でも有数の規模を誇った妓楼で、高杉晋作、伊藤博文ら幕末の志士たちが密儀を行った場所。さらに桜田門外の変で襲撃組主体をなした水戸浪士17名がここで訣別の宴を催した場所としても知られています。



東海寺

寛永15年(1638)に三代将軍徳川家光が、名僧沢庵のために創建した臨済宗大徳寺派のお寺。鐘楼にある「東海寺梵鐘」は総高198cm、口径106cm。五代将軍綱吉の母、桂昌院が将軍家光の冥福を祈るために寄進したものです。昭和5年に建設された仏殿「世尊殿」には、本尊の釈迦三尊像をはじめ閻魔王、十六羅漢などの仏像が安置されています。沢庵は「たくあん漬け」の考案者としても知られることから「たくあん発祥の地」といわれています。



品川宿の見どころを紹介するぜよ!



ハツ山橋

北品川駅

土蔵相模跡

北品川橋

合場小

聖蹟公園

品川神社

品川神社

東海寺



聖蹟公園

東海道品川宿の本陣跡。江戸時代、品川宿は日本橋を起点とする東海道最初の宿場町として栄えていました。大名や勤王が休息・宿泊する旅宿は本陣といわれ、江戸前期には北品川宿、南品川宿にそれぞれの本陣がありました。宿駅制度が廃止された後は警視庁品川病院となり、昭和13年に公園として整備され今に至ります。

源頼朝が安房国の洲崎明神を勧請したことが始まりといわれる品川神社。境内には宝物殿や神楽殿、板垣退助の墓や富士塚、金運スポットとして人気の阿那稲荷神社や、都内でも珍しい昇り龍降り龍の彫刻が施された石造鳥居、陶製の狛犬など、見所がたくさん。品川神社例大祭と春祭・新宮祭に奉納される「太々神楽」は、徳川家康が関ヶ原の合戦出陣の折、戦勝祈願として奉納されたもので東京都の文化財に指定されています。

